

← **Camilla Akrans**  
カミラ・アクランズ

“セクシー”を撮らせたら!?

ロケーション撮影好きのスウェーデン人フォトグラファー、カミラ。文字通り世界をまたに駆ける彼女は、女性ならではのセクシーを表現させたらずば抜けている。普通の女の子のような雰囲気を感じさせる見た目からは、想像もできない写真を撮るのも魅力の一つだ。[Blue Crush] (p.246)



← **Dainippon Type Organization**  
大日本タイポ組合

“文字アソビ”の達人!

「ヒゲ有りで苗字無しの秀親とヒゲ無しで苗字有りの塚田哲也」のタイポグラフィユニット。斬新なアイデアとポップなセンスで、東京を舞台に“文字”と戯れてくれた結果、フューチャリスティックな東京ヴィジュアルが完成! [Tokyo Odyssey] (綴り込み付録)



← **Laurie Bartley**  
ローリー・バートレー

ボウリング場で激写!

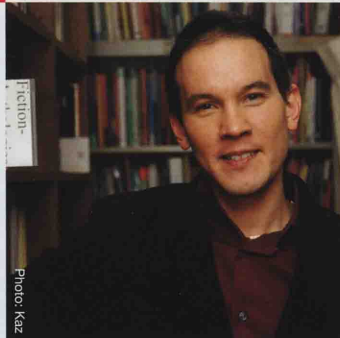
写真に関しては、真面目で撮影が始まると自分の世界に入り込んでしまうローリー。今回のロケの場所はニュージャージーにある60年代のボウリング場。「今シーズンの気分はなんとなく60sのボウリングかなあ」という会話から始まった今回のコンセプト。動画を撮る人特有の、今にも動き出しそうな写真に圧倒される。[Superbowl] (p.222)



← **Roland Kelts**  
ローランド・ケルツ

外から見たジャパンを解読する。

アニメにみるフューチャーについて書いてくれたのがNYと東京を行き来する作家ローランド・ケルツ。新刊『Japanamerica』ではアニメの人気を日米で取材。村上春樹作品を海外で紹介することで知られる彼だが、自身の小説『ACCESS』も発表する予定だ。[Anime Future Fashion] (p.127)



← **Yoooco Tanimoto**  
谷本ヨコ

自身もショップ・オーナー。

ヴォーグ・ランジェリーショップのインテリアデザインを手がけたイラストレーターの谷本ヨコさんは、実際にインテリアショップ「デコール・ギャルリア バビロン (www.decorgalleriababylon.com)」のオーナーも務める才女。チャーミングな人柄も素敵! [Vogue Lingerie Couture] (p.197)



世界中から集まった素晴らしい才能  
今月のヴォーグをつくったクリエイターたち ②